

# 図書室だより

いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただきありがとうございます。



## 【森の美術館】



今月は牧本小学校の皆さんの作品です



★ワンパッケン (1年生)



★カエピオン (1年生)

★ぼくと魚 (2年生)

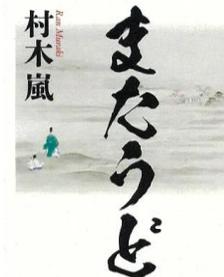


柳沼豆腐店さん  
お世話になりました！！  
(3年生)

## ■今月のおすすめ本■

### 【T.Sさんおすすめ】「またうど」村木嵐／著 幻冬舎

だれもその人の言葉を理解できず、まいまいつぶろと陰口をいわれ続けていた九代將軍徳川家重公に仕えさらに十代將軍徳川家治公の下で側用人として幕政を主導していた田沼意次の話である。財政赤字が続き儉約、増税を強いてきた田沼はつらい立場であったが、生涯一度も文字を書いたことがないという家重公に「またうど」と重用される。またうどとは「愚直なまでに正直な信の者」という意味。私の中で田沼に対する意識が変わった前作の「まいまいつぶろ」とあわせて読むことをおすすめする。



### 【F.Kさんおすすめ】仙川環／著 小学館文庫

三大疾患の一つの「脳卒中」。現在の医学では、対処療法として手術が一般的だが、脳神経外科の香山医師は、手術をしないで治す方法を開発したとして、一躍時の人となる。そこに政治的なバックアップもあり、各メディアは大々的に報じる。東都新聞の記者、速水絵里子は、当初、この香山の治療方法のスクープを狙ったが、先輩記者、皆川沙也と対立していく。その後、香山の治療で亡くなったとの情報も入ってくる。本当に、香山の治療方法なのか、それとも・・・最先端医療や医学界のことはほとんどの人は解らないが、この小説に書いてあるフィクションは、あまりにもリアルすぎて、現実でもあるのではないかと錯覚する位である。作家の仙川環氏の取材と情報収集の力のすごさと、小説と現実の境の不透明さの表現が妙だと感じる作品である。



## 《新着図書》

一般書	
■明智恭介の奔走	今村昌弘
■笑う森	荻原浩
■赤パンラブソディ	桐衣朝子
■さざなみの彼方	佐藤雫
■鷹の飛翔	堂場瞬一
■疼くひと	松井久子
■はつ恋	村山由佳
■親の家が空き家になりました	葉山由季
■籠の中のふたり	薬丸岳
■マザー	乃南アサ
■かごいっぱい詰めて	真下みこと
文庫	
■警視庁総合支援課 3 明日への誓い	堂場瞬一
■団地のふたり	藤野千夜
■もふもふ 犬猫まみれの短編集	恩田陸 他
■葉屋のひとりごと 6	日向夏
■葉屋のひとりごと 7	日向夏
■葉屋のひとりごと 8	日向夏
一般書	
■暮らしの図鑑 フィンランド時間	翔泳社
■あるある！田舎相続	澤井修司
■人生は苺ショート	林真理子
■「老けない人」の習慣、ぜんぶ集めました。	ホームライフ取材班
■ねこのひとりごと	東郷聖美

## 《新着図書》

一般書	
■魔女のまなざし	角野栄子
■プレゼントでできている	矢部太郎
■奪還 日本人難民6万人を救った男	城内康伸
■投資依存症 こうしてあなたはババを引く	森永卓郎
■消費者金融ずるずる日記	加原井末路
■90前後で、女性はこう変わる	樋口恵子/下重暁子
■ホームレスでいること	いちむらみさこ
■介護ヘルパーごたごた日記	佐東しお
■デジタル時代の賢い「スマホ育児」	佐藤朝美
■日本の台所とキッチン 100年物語	阿古真理
■野犬の仔犬チトー	伊藤比呂美
■日本の美しい水族館	銀鏡つかさ
■幸せへのセンサー	吉本ばなな
絵本・児童書	
■チャレンジ ミッケ！⑫ おばけだよ	ウォルター・ウィック
■ゆうやけにとけていく	ザ・キャビンカンパニー
■パンどろぼうとりんごかめん	柴田ケイコ
■どんぐり	たてのひろし
■くまくまパンまつり	西村敏雄
■とびっきりのともだち	エイミー・ヘスト

### ◆おすすめ本を書いてみませんか◆

対象は「文化の森てんえい図書室」にある本です。掲載文字数は**200文字**程度。掲載者にはお礼の**記念品**を贈呈致します。皆さまのご応募お待ちしております。